

福島第二原子力発電所からのお知らせ (2017年5月号)

2017年5月26日

TEPCO

東京電力ホールディングス
福島第二原子力発電所

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

48名の新しい仲間が加わりました

今年度、東京電力グループは新入社員280名を採用しました。そのうち福島第一・福島第二原子力発電所に配属予定の48名は、現在、福島第二原子力発電所内の「原子力人財育成センター※」で研修を受けています。新入社員たちは、研修を通して、原子力部門の業務に共通する基礎知識や技能を習得し、原子力安全を確保するための基本行動を身につけていきます。

大熊町や楡葉町にある寮で、新社会人としての一步を踏み出した48名。常識ある社会人に成長できるよう、日々精進してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。

※「原子力人財育成センター」

当社原子力部門（廃炉を含む）の「人財」を育成するため、昨年12月に新たに設立した組織です。同センターは、新入社員を含む原子力部門の全社員に対して、原子力安全を高める知識・スキルを継続的に学ぶ機会を提供し、効果的な教育・訓練を推進しています。



私たちは、どんな課題にも前向きに挑戦していきます！



原子力設備の仕組みや構造を学んでいます



燃料の保管状況を現場で確認しています

大学在学時、放射線に関する授業を受けたり、地域のボランティアに参加する中で、“自分にできる仕事は何か”を考えてきました。そこで「福島復興や廃炉などの課題に『挑戦』し、地域や社会に貢献したい」との思いが強くなり、入社を決意しました。

生まれ育ったこの地で、社会人としてのスタートを切るにあたり、夢や希望がふくらむとともに、身が引き締まる思いです。まずは自分ができることから取り組んでいきたいと思えます。

新入社員

正本 恭介（富岡町出身）

子供の頃、エネルギー館にはよく遊びに行っていました。

熱帯魚（ベタ）の飼育のことなら何でも聞いてください。

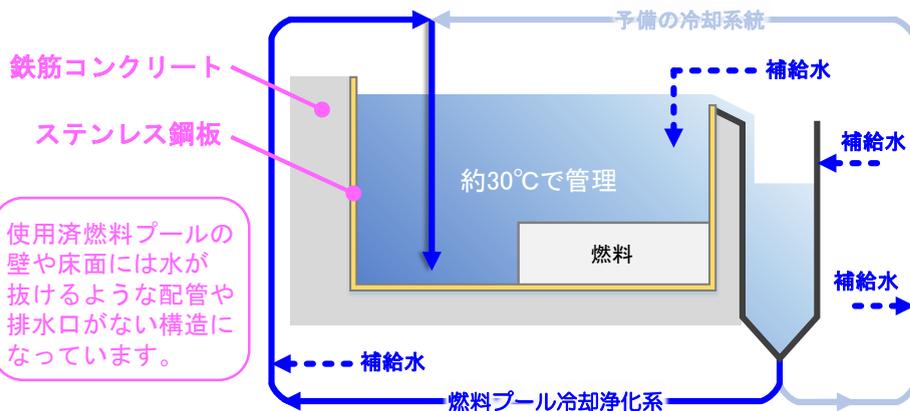


みなさまのご質問におこたえします

Q. 使用済燃料プール水の温度に管理上の上限を設けているのはなぜですか？

A. 構造体（鉄筋コンクリート）の強度を維持するため、安全上十分に余裕を持たせた温度として、管理上の上限を定めています。

使用済燃料プールは、ステンレスの板で内張りされた鉄筋コンクリート製です。一般に、コンクリートは大気圧において100℃を超えた状態で長時間さらされると、強度に影響が始めるとされています。この温度に対し、安全上十分に余裕を持たせた温度として、福島第二原子力発電所では、プール水の管理上の上限温度を65℃に設定しています。



回答したのは

福島第二原子力発電所
建築グループマネージャー

小林 あきお
揚男

- ・一級建築士
- ・コンクリート診断士



地域のコーナー 今回は川内村です

「川内の郷かえるマラソン」を紹介します

4月30日、川内村で「第2回川内の郷かえるマラソン」が開かれ、青空の下で約1,500人が健脚を競いました。



県内外から多くのランナーが集まり、新緑の川内路を駆け抜けました。

発電所長の石井もハーフマラソンに挑み、無事に完走しました。

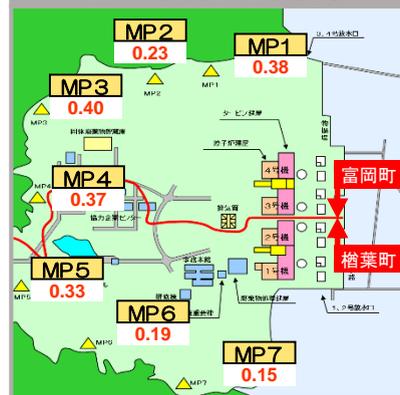


当日は当社社員も車両の誘導や駐車場の整理のお手伝いをさせていただきました。



発電所周辺の空間線量率

2017年5月24日午前6時



単位は、マイクロシーベルト毎時

参考データ

原子力規制委員会
放射線モニタリング情報より
(2017年5月24日午前6時)

富岡町
文化交流センター
(富岡町役場敷地内)
0.201
マイクロシーベルト毎時

楡葉町役場
0.092
マイクロシーベルト毎時

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1～4号機の使用済燃料プールで保管しています。
- プール水温度は約30℃で管理し、常に監視しています。
- プールの冷却が停止した場合、管理上の上限温度（65℃）に達するまで5～7日と評価しています。

	1号機	2号機	3号機	4号機
燃料の保管数	2,534体	2,482体	2,544体	2,516体

福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は引き続き燃料の安定冷却を継続してまいります。

ご質問・ご不明な点がございましたら下記にお問合せ下さい。

福島第二原子力発電所 企画広報グループ TEL 0240-25-1353 受付時間（平日）午前9時～午後5時